

事業番号	10 02 06	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	高性能林業機械導入推進事業			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-6 農山村産業クラスター形成プロジェクト 3-2-4 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト			課・室	信州の木活用課	
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり			E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
		1 林業再生の実現			実施期間	H22 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○高性能林業機械等の導入を推進することにより計画的な搬出間伐を促進するとともに、間伐等素材生産コストの低減と林業の労働安全性の向上を図る。 ○高性能林業機械により素材生産作業を行う高度な林業技術者の養成を図る。 目標:平成32年度 県内の素材生産75万m ³ 平成32年度 高性能林業機械稼働台数 390台(累計)
------	--

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年度現在県内の高性能林業機械稼働台数288台(見込み) ○平成25年度高性能林業機械オペレーター養成数(累計)463人
------------	---

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 検討中	【左記の説明、根拠法令等】 森林・林業再生基盤づくり交付金交付要綱
----------	-------------------------------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	<ul style="list-style-type: none"> ○事業による高性能林業機械等導入台数3台 ○高性能林業機械オペレーター養成累計 498人(H25養成:15人H26見込み:20人) 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27		H28
				(当初)	(決算)	(当初)
高性能林業機械の導入	補助金	森林組合、林業者の組織する団体等の高性能林業機械の導入を支援 導入台数:12台、補助率:1/2以内・4.5/10以内	23,724	156,905	163,236	
高性能林業機械オペレーター養成	補助金	県林業労働力確保支援センター((一財)長野県林業労働財団)が実施する養成研修を支援 オペレーター養成:10人、補助率:10/10	822	822	822	
付帯事務費	直接	事務補助員の雇用、事務費	1,568	878	1,568	
		合計	26,114	158,605	165,626	

事業コスト	区	分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				110,778		項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		当初予算	241,684	430,953	26,114	165,626	目標			成果	達成状況		
		補正予算			110,778	60,000		事業導入台数(単年度)	21	3	19	達成	17
		合計(A)	241,684	541,731	196,892	165,626		高性能林業機械オペレーター養成数(単年度)	6	20	10	未達成	15
	Aの財源	一般財源	1,265	1,121	1,195	1,195							
		県債											
		国庫支出金	54,053	181,066	195,697	30,303							
		その他	186,366	359,544	0	134,128							
	ト	決算額(B)	232,168	347,826	158,605								
概算人件費	職員数(人)	0.97	0.97	0.97	0.97								
	概算人件費(C)	8,010	8,010	8,028	8,028								
	概算事業費(B(A)+C)	240,178	355,836	166,633	173,654								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年度実績の確定に伴い実績値を修正。 ○平成27年度の本事業導入台数は当初予算の3台に加え、前年度2月補正分、当年度6月補正分も加えると19台と目標を達成できた。 ○高性能林業機械オペレーター養成数は対前年度より増加したものの、事業の周知不足等の理由により目標人数を下回った。 ○県民協働による事業改善では、林業労働力確保支援センターによるレンタル事業の対象とする事業体の範囲の拡大、オペレーター養成研修の定員割れへの対応についてご意見をいただいた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、林業事業者等による高性能林業機械の導入を支援し、間伐作業や素材生産コストの低減と労働安全性の向上を図る。 ○高性能林業機械オペレーター養成については、研修対象者の範囲の拡大、実技研修の時間の増、研修生が参加しやすい日程への変更などの改善により、研修生の増を図る。 ○林業労働力確保支援センターによるレンタル事業については、認定林業事業者制度の認定を受けることが必須であるため、当該制度の周知を図る。